

ARIBからの
お知らせ

第71回規格会議開催のお知らせ

下記のとおり第71回規格会議を開催いたします。規格会議委員の皆様のご出席をお願いいたします。

記

- 1日時 : 平成20年9月25日(木) 午前10時から12時まで
2場所 : 東海大学校友会館 望星の間 (霞が関ビル33階)
東京都千代田区霞が関3-2-5 TEL:03-3581-0121

なお、議案はARIBホームページ (<http://www.arib.or.jp/>) の「お知らせ」に掲載していますのでご参照ください。

ICT標準化・知財センターによる
「分野別戦略検討チーム」参加の募集について

電波産業会は、我が国における国際標準化に関する様々な取り組みを統括する拠点としてICT(情報通信技術)分野の標準化に関連する国内の他の7機関とともに、「ICT標準化・知財センター」を設立しました。

ICT標準化・知財センターにおいては、ICTの重点技術分野毎の国際標準化の最新動向や技術毎の特許取得状況等を取りまとめたパテント情報等を活用することにより、個別の製品やシステムに対応した標準化課題について分析を行い、個々の技術分野に対して標準化戦略を策定することを通じてICT分野の国際競争力を強化に資することを活動目標のひとつとしています。

センターでは、平成20年8月26日(火)から平成20年9月30日(火)までの間、10の重点技術分野に対して分野別戦略検討チーム活動への参加を希望する企業や大学等を募集しています。詳しくは下記のリンクをご参照ください。

1 分野別戦略検討チーム 募集のお知らせ

【 <http://www.isipc.org/news.html> 】

2 ICT標準化・知財センター

【 <http://www.isipc.org/> 】

ICT標準化・知財センター発足記念シンポジウムが開催される

電波産業会と他のICT（情報通信技術）分野の標準化関連国内7機関によって「ICT標準化・知財センター」が設立されたことを記念し、8月26日に新宿NSビルにおいて、来賓として鈴木淳司総務大臣政務官を招き、「ICT国際競争力強化を目指した標準化・知財戦略シンポジウム」が300名を超える聴講者を集めて開催されました。

基調講演には、日本経団連の知的財産委員長である三菱電機の野間口有会長から『企業活動で重要性を増す国際標準』と国際標準を制することの重要性が述べられるとともに、情報通信研究機構の宮原秀夫理事長から産学連携における課題やセンターに対する期待が示されました。

最後に、東京電機大学・安田浩教授をコーディネータに、パネリストとして事業者からNTTドコモの辻村清行副社長、メーカから松下電器産業の櫛木好明シニアフェロー、大学から平松幸男大阪工業大学教授、総務省から河内正孝大臣官房総括審議官が参加して国際競争力強化に向けた国際標準化活動の重要性、課題等について共有するとともに、ICT標準化・知財センターの活動に対する期待、役割などについてパネル討論が行われました。また、国際標準化に関する重点技術分野について分野ごとに標準化戦略の検討を行うために、「分野別戦略検討チーム」について参加の募集が同時に行われました。

電気通信・放送
行政の動き携帯端末向けマルチメディア放送方式に係る意見募集の結果の公表
及び携帯端末向けマルチメディア放送方式の技術的な要求条件（案）
等に対する意見の募集

【平成20年8月27日総務省報道発表】

情報通信審議会放送システム委員会（主査：伊東 晋 東京理科大学教授）は、「放送システムに関する技術的条件」のうち「携帯端末向けマルチメディア放送方式に関する技術的条件」について検討を行っております。

放送システム委員会においては、平成20年7月30日から平成20年8月18日まで携帯端末向けマルチメディア放送方式に係る意見募集を実施し、その結果を踏まえて要求条件（案）及び方式公募にあたっての前提条件（案）を取りまとめました。

つきましては、意見募集の結果を公表するとともに、本委員会での技術的条件の検討に資するため、2011年7月以降に開始されるマルチメディア放送サービスについて、その放送方式が有すべき機能等、技術的な要求条件（案）及び将来実施予定の方式公募にあたっての前提条件（案）に関して広く国民の皆様から以下の要領で意見を募集いたします。

1 意見募集の対象

- ・ 携帯端末向けマルチメディア放送方式の技術的な要求条件（案）
- ・ 方式公募にあたっての前提条件（案）

2 募集期限

平成20年9月16日（火）午後5時まで

なお、検討の背景、意見募集対象の具体的な内容、募集の要領、意見提出上の留意点、今後の予定、連絡先等の詳細は下記URLの総務省報道資料をご覧ください。

【 http://www.soumu.go.jp/s-news/2008/080827_2.html 】

「周波数再編アクションプラン」の見直しに係る意見募集 【平成20年8月27日総務省報道発表】

総務省は、平成19年度電波の利用状況調査（770MHz超3.4GHz以下の周波数帯を対象）の評価結果に基づく具体的な周波数の再編を円滑かつ着実に実施するため、「周波数再編アクションプラン（平成19年11月改定版）」を見直し、「周波数再編アクションプラン（平成20年10月改定版）」（案）を作成しました。

つきましては、同案について、平成20年8月28日（木）から同年9月26日（金）までの間、意見を募集します。

1 背景・目的

総務省は、電波の利用状況調査の評価結果に基づく具体的な周波数の再編を円滑かつ着実にフォローアップするための具体的な取組を示すため、平成16年度より、「周波数再編アクションプラン」を策定、公表しています。今般、平成19年度電波の利用状況調査の評価結果を踏まえ、平成19年11月に策定した「周波数再編アクションプラン」の見直しを行うものです。

2 見直しの概要

各周波数区分のアクションプランについて、以下の見直しを行います。

- (1) 770～960MHz 帯、1.4～1.71GHz 帯、1.71～2.4GHz 帯及び2.4～2.7GHz 帯の周波数区分のアクションプランを見直し。
- (2) 平成16年度電波の利用状況調査（3.4GHz 超の周波数帯を対象）、平成17年度電波の利用状況調査（770MHz 超3.4GHz 以下の周波数帯を対象）及び平成18年度電波の利用状況調査（770MHz 以下の周波数帯を対象）の評価結果に基づく既定のアクションプランについて、その進捗状況を踏まえ現行化を実施。

なお、意見募集対象および募集要領等の詳細は下記URLの総務省報道資料をご覧ください。

【 http://www.soumu.go.jp/s-news/2008/080827_4.html 】

平成23年以降の新たなBSデジタル放送に係る参入希望調査の実施
【平成20年8月28日総務省報道発表】

総務省は、平成23年以降に開始される予定の新たなBSデジタル放送に関し、平成20年8月28日（木）から同年9月30日（火）までの間、委託放送業務に係る参入希望調査を実施いたします。

1 実施期間

平成20年8月28日（木）～同年9月30日（火）

2 対象者

平成23年以降の新たなBSデジタル放送に係る委託放送業務を行うことを希望する者

3 今後の予定

現時点では、下表のスケジュールに沿って手続を進めることを予定しています。

| | |
|------------|----------------------------------|
| 平成20年9月30日 | 参入希望調査の締切 |
| 11月頃 | 基本的方針及び参入希望調査を踏まえた制度整備（案）の意見募集開始 |
| 平成21年1月頃 | 制度整備（案）電波監理審議会諮問 |
| 平成21年4月頃 | 委託放送業務認定申請受付開始 |
| 平成21年7月頃 | 委託放送業務の認定 |
| 平成23年7月以降 | 新たなBSデジタル放送の放送開始 |

なお、調査項目、調査方法等の詳細は下記URLの総務省報道資料をご覧ください。

【http://www.soumu.go.jp/s-news/2008/080828_5.html】

編集後記

次男（と言っても勤め人）がPCを譲ってくれました。作ったのは良いが使用中ダウン頻発の症状が治まらない、とあっさり別のマシンを買ってしまい、長らく放置していたお古です。

チェックすると、なんとハードディスク電源の二重接続、メモリーの間歇障害、CPU放熱フィンの過剰な熱伝導グリース、ケースファンの誤接続、など大小さまざまな問題がありました。

これらをクリアして試運転してみると極めて快調です。24H過負荷試験でも落ちません。さらにドライバ入れ替えで、息子も驚く速さで動くようになり、親父の面目躍如です。

しかし、親としては喜んでばかりはいられません。普通はこの手のノウハウは若者のほうが強い筈だろう、この問題解決スキルの低さは何だ？この調子で

は彼らの将来はどうなる？

そして日本の将来は？・・・心配です。おもしろうてやがて哀しきPCかな。

(tss)

[ページの先頭に戻る ▲](#)